D.C.	- 令	和4年度(令和3年度実	施事業分)主要	<b>要事業評価シ</b>			No.	2-	
DCA	主要事業名	3 職員研修事業	<b>k</b>	部課名	企画部	人事課	担当	藤	
					T - HLA 4 3- BL		内線	222	<u>''                                   </u>
_	総合計画: 5 一 3 一 1 単位施策: 行政運営								
Р	全体事業期間:   令和   3 年度   全体事業費等:   8,843 千円     会計   一般会計   歳出科目:   02.01.01.12.01								
総合計画との関係性と予算根拠		一							
	37.4天旭司臣	T大心的自 (国政节及要求具寸/ · TD							
	<b>事类概要</b>	「半田市人材育成基本方針」に基づき、職員のキャリアに合わせた効果的な 研修を実施することで、職員が、自ら考え行動できる「自立した職員」とし す、主体的に将来像や進路を描き、その実現に向け創意工夫し、能力を高め るために実施する。						予算見	
	事業概要等	事業目的: 半田市民全体の奉仕者としてふさわしい品位と識見を備えた能率的な職員を養成し、市行政の円滑な運営を図る。							
		事業内容: 各階層に組織力向上に重点を置いた研修を行うとともに、育児休業取得者や 女性監督職への支援を目指した専門研修を新たに実施する。							
	問題点・ 入庁 1 年目職員の早期戦力化、若手職員(入庁 8 年目) 課題等: 育児休業取得者等への支援。								iii
	予算額	主要事業とする理由						書で活	1
	8,843 千円 財源内訳 市費	研修を通じて職員の成長を促すことが、魅力と活力溢れる半田市を創造する礎となるため。							日にイ
	8,082 千円	得られる成果							万万
	国費 43 千円	職員個々の学ぶ意欲を高め、計画的かつ総合的な職員研修を実施することにより、自ら考え、行動できる「自立した職員」を育成することができる。							
	県費	目標値や目指すべき状態	態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位		
	0 千円	人事評価 (執務態度・	実績値	33. 9	33. 8	_	点		
		能力評価)の平均点	目標値	36.0	36.0	36. 0	点		
		電話応対診断結果平均点	<b>実績値</b> 目標値	77. 5 80. 0	77. 3 80. 0	80.0	点点		
	その他	- M	実績値	60.0	80.0	80.0			
	718 千円		目標値						_
D 得られた成果と実	決算額	得られた成果							
	7,059 千円	ウィズコロナの中、オンライン研修を活用しながら職員の研修受講機会確保に努めた ことにより、職員個々の学ぶ意欲を高め、「自ら考え、行動できる自立した職員」の 育成に寄与した。							
		成果指標 令和3年度 単位					単位		
						点			
		目標値   36.0   点							
		電話応対診断結果平均点 実績値 78.4 点   目標値 80.0 点					主	Ē	
_						00.0	7115	主要施	佢
<b>美</b>								施	Į E
<b>美</b>								1 == 1	
績		D						策の	[
績 こ		D						の成	/
積一く 果夏のを	事業の 評価・課題	人事評価(執務態度・能力 たが、前年度を上回る結果 ており、研修等の実施によ	果となった。電	話応対診断につ	ついては、全体			の成	へお算形に
績一() 果頃の整里		たが、前年度を上回る結果	果となった。電	話応対診断につ	ついては、全体			の成果報告書で活	/ 沙算時に化
績   ( ) 果頭の整里   4 課題解決		たが、前年度を上回る結りており、研修等の実施によ	果となった。電で よる底上げができる にまができまった。 はまでできる。 はまでできる。 はまでできる。 はまでできる。 はまできる。 はないのでもないのでもない。 はないのでもないのでもない。 はないのでもないのでもない。 はないのでもないのでもない。 はないのでもないのでもない。 はないのでもないのでもないのでもない。 はないのでもないのでもないのでもないのでもないのでもないのでもないのでもないのでも	話応対診断につき でいるという もいとう え。もスメモ くとしてるとしてるとの、、紅紹、ンコー	Oいては、、全体 そる。 一寸 動で生産に、これ う動がた起こイン フェーター できない。 でもない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。	の95%が75点 した職員の、視点 したる断的なを はいでを が見れて で の で の で の で の で の で の に の に の に の に の	以上を獲得し 育成でできるきの でに引きめ、 よ続のラ	の成	/ 沙算時に化
精 ( ) 果題の整理 ( ) 課題解決に	評価・課題	たが、前年度を上回る結果でおり、研修等の実施により、研修等の実施により、研修等の実施により、 でおり、研修等の実施により、 でも推進 「半田市人材育成基本方針ではない。 「半田市人材育成基本方針ではない。 「半田市人材育成基本方針ではない。」 「半田市人材育成基本方針ではない。」 「半田市人材育成基本方針ではない。」 「半田市人材育成基本方針ではない。」 「半田市人材育成基本方針ではない。」 「半田市人材育成基本方針ではない。」 「半田市人材育成基本方針ではない。」 「半田市人材育成基本ではない。」 「半田市人材育成基本方針ではない。」 「半田市人材育成基本方針ではない。」 「半田市人材育成基本ではない。」 「半田市人材育成基本ではない。」 「半田市人材育成基本ではない。」 「半田市人材育成基本ではない。」 「半田市人が、これではない。」 「半田市人が、これではない。」 「半田市人が、これではない。」 「半田市人が、これではない。」 「半田市人が、これではない。」 「半田市人が、これではない。」 「半田市人が、これではない。」 「半田市人が、これではない。」 「半田市人が、これではない。」 「半田市人が、これではない。」 「半田市人が、これではない。」 「半田市人が、これではない。」 「半田市人が、これではない。」 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	果となった。電で よる底上げができる にまができまった。 はまでできる。 はまでできる。 はまでできる。 はまでできる。 はまできる。 はないのでもないのでもない。 はないのでもないのでもない。 はないのでもないのでもない。 はないのでもないのでもない。 はないのでもないのでもない。 はないのでもないのでもないのでもない。 はないのでもないのでもないのでもないのでもないのでもないのでもないのでもないのでも	話応対診断につき でいるという もいとう え。もスメモ くとしてるとしてるとの、、紅紹、ンコー	Oいては、、全体 そる。 一寸 動で生産に、これ う動がた起こイン フェーター できない。 でもない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。	の95%が75点 した職員の、視点 したる断的なを はいでを が見れて で の で の で の で の で の で の に の に の に の に の	以上 育年を獲 でに引 でに引 を き さ き さ き が の う に の の に に の に に に に に に に に に に に に に	の成果報告書で活	/ 沙算時に化
精   〇) 果題の整理   〇 課題解決に向	評価・課題 今後の事業 の方向性	たが、前年度を上回る結果でおり、研修等の実施により、研修等の実施により、研修等の実施により、	果となら上げができた。電では、 はならには、 はいで	話応が が が が が が が が が が が が が が	Oいては、全体 そる。 一寸動で生産に、こうでを があたたけでを がいる。 でを でを でを でを でを でを でを でを でを でを	で の95%が75点 した 職員」、 はあたためな視断のはを目 がは組織防止対策にいく。 の 効型 で コスト削	以上 育年を獲 でに引 でに引 を き さ き さ き が の う に の の に に の に に に に に に に に に に に に に	の成果報告書で活	し(対算時に竹成)
精 ( ) 課題の整理   4、課題解決に	評価・課題	たが、前年度を上回る結果でおり、研修等の実施により、研修等の実施により、研修等の実施により、	果とな。 は は は は は は は は は は は は は	話応が が に に に に に に に に に に に に に	ついては、、全体 できる。 一寸数の新たまでを のものでを できをでは、 では、 できをでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	での95%が75点 した職員」 にあるためな視点 が組織防止対策 いく。 効型	以上 育年を でに引 でに引 を を すに を を すに を を を を を で に に の に 。 に に 。 。 。 に 。 。 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	の成果報告書で活	/ 沙算時に化